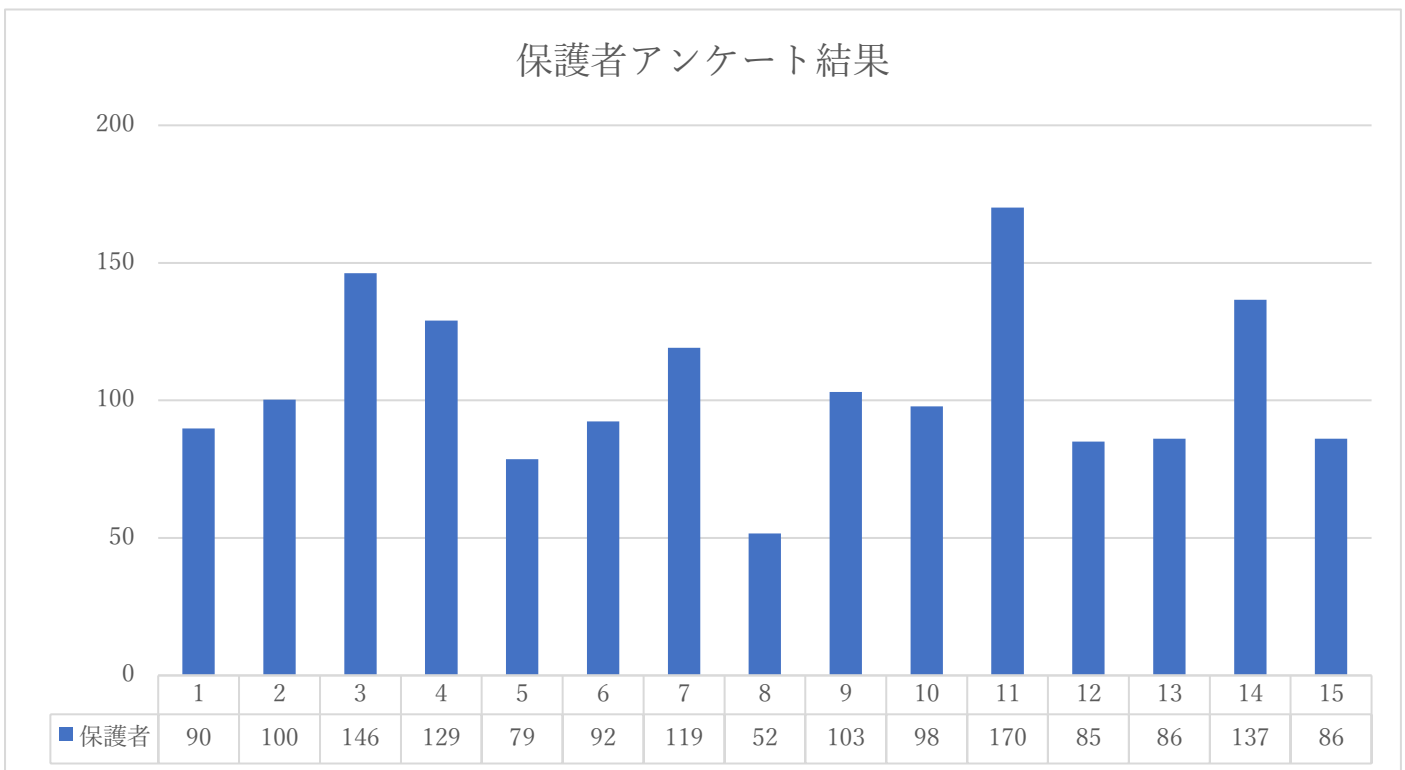


●保護者アンケート結果

保護者アンケートの回答を点数化し、200点満点でグラフ化した。本アンケートは、本校の学校運営について回答を頂き、その結果を今後の学校運営、教育活動へ反映されるよう努めていく。

***点数は200点満点**



【質問①】

慶誠高校は学校の教育方針や目標を保護者後援会などを通じて保護者に伝えている。

保護者会を開くことができなくなっているが、学校側はきちんと教育方針・目標をきちんと保護者に伝え、理解してもらえるよう来年度はまずは半数を超えていきたい。また、入学後だけでなく、生徒募集の段階で本校がどのような学校なのかという情報を積極的に発信していきたい。

【質問②】

慶誠高校は保護者および地域社会から信頼されている。

今年度、入学者も増加してきた。この機会をとらえ、信頼される学校へと、教育活動全般をとおして、150の評価をめざしたい。

【質問③】

慶誠高校に自分の子どもを入学させて良かった。

128点から146点へと半数超えまであと少しとなった。保護者の方がこのような回答をして頂いていることは非常に有難いことであり、来年度は今の勢いをますます加速させ、職員一同、邁進したい。

【質問④】

慶誠高校の学科・コースは魅力的である。

本校の科・コース概要は2学科6コースと多岐にわたる。それぞれが、特色を出し、生徒の未来を作り上げているのか、どのようにして学習を進めていくのかという検証を行い、より魅力的なコースを目指したい。

【質問⑤】

慶誠高校は保護者とのコミュニケーション（連絡）を大切にしている。

この結果は、保護者と連携して教育活動を実施していくことを考えると、担任、部活動顧問などが中心に真摯に受け止めていかなければならない。文書による連絡や電話連絡その他ツールを活用しながら、保護者とのコミュニケーションを取っていききたい。そのことで日頃から信用を得ることがスムーズな活動運営につながるので、欠席連絡等には丁寧に対応していきたい。

【質問⑥】

慶誠高校の先生方は生徒の悩みや相談によく応じてくれる。

保護者の方々からの評価であり、今後の課題である。信用を勝ち取れるように生徒が相談しやすい雰囲気・システム作り、学習に関する相談や進路相談をはじめ、心の問題など高校生が抱える悩みを共有できるように努めていきたい。

【質問⑦】

慶誠高校は生徒の生活の規律指導（挨拶・遅刻・欠席・服装など）は適切である。

半数以上の保護者から理解を得られているのは良いことだが、本校における是々非々を明確にし、しっかりと継続してより多くの保護者の方々に理解と協力を得られるように指導していきたい。

【質問⑧】

慶誠高校での授業について授業は解りやすいと子どもから聞いている。

この結果が最低の評価であり、大きな課題として受け止める。来年度はこの評価をあげていきたい。学校活動の中心はあくまでも授業であり、わかりやすい授業を実現したい。

【質問⑨】

慶誠高校は生徒の進路（就職・進学）が実現するように努力している。

96点。高校の最終的な目標は、生徒の進路確保である。その点について、保護者の半数以上が学校に対して努力できていないという印象を抱いていることは大きな課題である。担任は、日頃から二者面談や三者面談を通して生徒の進路希望を把握し、保護者の同意が得られるかどうか、そして、実現に向けてどのようにしていくのかなど道標を示していかなければならない。また、進路部は多数ある進学先・就職先の情報を生徒が活用しやすいように整理整頓し、提供するよう努力しているので、評価を高めていきたい。

【質問⑩】

慶誠高校の学校行事（体育祭・文化祭・歓迎遠足・クラスマッチ・修学旅行など）は充実している。

51点から98点へと増加した。教職員・生徒アンケートにもあるように、この項目についてはコロナウイルスの影響が大きくある。昨年度ではほとんどの学校行事が中止となり、今年度は出来るだけ「中止ではなく縮小開催」という形を取ってきた。しかし、本来の形式とは違っても開催してきたことが生徒の満足度を上げた要因だと思う。ただ、保護者の方々からは参観しなかったという声もあり、次年度はコロナの状況も鑑みできるだけ応えていきたい。

【質問⑪】

慶誠高校の部活動は活発である。

129点から170点と非常に高い結果となった。今年度のサッカー部、女子バスケットボール部の活躍が目立った。総じて強化部・準強化部をはじめとする多くの部・同好会が活動がしにくい状況ではあるが、各種大会・コンクール・コンテスト等でたくさんの生徒が活躍してくれた。毎月の学校新聞「慶誠の息吹」でも紹介している。

【質問⑫】

慶誠高校は人権教育（差別をしない、一人ひとりを大切にする等）の推進に力を入れている。

保護者には普段の学校生活は見えにくい状況にある。そのようなことから、先にも紹介しているが「慶誠の息吹」という新聞で毎月の学年集会で実施された人権教育についてもその内容等を保護者に周知できている。

【質問⑬】

慶誠高校は健康・安全に関する教育に力を入れている。

学校は安心安全が第一である。生徒が心身ともに健康に生きていけるよう、健康については、養護教諭による保健だよりが毎月発行することができた。また、安全教育については生徒に対しては生徒部・学年を中心として外部からの交通マナーの指摘を受け、迅速に対応し、周知している。部活動ではマイクロバスを使用する機会が多いので、安全運転を心がけるよう注意している。

【質問⑭】

慶誠高校は清掃が良くなされており快適な環境を築くため施設の整備に力を入れている。

来校される保護者の方々からの評価が多いと思われる。部活動生による朝の清掃，生徒たちの日頃の清掃活動の賜物である。清掃時間には教職員も各担当区に配置されているため、生徒と共にしっかりと清掃していきたい。また設備については毎月の衛生委員会にて、校内巡視で、学校施設の危険な所や修理が必要な所を点検している。

【質問⑮】

慶誠高校の保護者後援会のあり方は適切である。

今年度もコロナ禍になり、後援会として活動もかなり制約があった。学校教育は、教職員だけでは成り立たない。保護者の意見を伺いながら、連携をとって進めていくものである。来年度は後援会とも協働した活動がスムーズに展開できればと思っている。